

# s o p h i a ~2月号~



## 言葉の世界

先月の現代文の授業で、短歌を作ってもらいました。自分と向き合った良い言葉がたくさんありました。

でも、なぜ短歌なんて作らなきゃならないんだと思った人もいます。そういう人たちは、きっと将来的に何の役にも立たないのにと考えているでしょう。確かにセンター試験や大学受験に短歌は出てきません。しかし、例えば記述式の問題。これは筆者の意見を決められた字数で記述するのですが、短歌は言いたいことを三十一文字という字数制限のなかにどう表現するかというものです。こう考えると、やってることって同じだと思いませんか。

かつて私は要約が非常に苦手でした。(今でもですが…)例えば桃太郎のストーリーを15字で要約しなさいという問題で、「昔桃から生まれた桃太郎が…ってもうだめじゃん」とひとりノリ突っ込みしていたほどです。そんな時に短歌と出会いました。たぶん国語の授業だったと思います。「マッチ擦るつかの間海に霧ふかし身捨つるほどの祖国はありや(寺山修司)」の歌です。初めは意味の分からない言葉の羅列でした。しかし、解説を聞くと、たった三十一文字に含まれる情報量の多さに圧倒されました。素直にすごいなと思いました。私もこの歌の百分の一でも言葉を使えればと。

短歌を作っていた時のことを思い出してみてください。あるクラスでは、短歌を考えている時間、一言もしゃべらなかつたクラスもありました。三十一文字に何を詠むか。どう詠むか。必死に考えた証だと思います。今までに、あんなに三十一文字に向き合ったことってあったでしょうか。この集中力を続けること、繰り返すことが記述トレーニングの一端になると思います。

さて、少々技術論的になってしまいましたが、そのうえで私はもう一つ、短歌の魅力、ひいては言葉の魅力を伝えたいと思います。

短歌を鑑賞していると、歌を詠んだ人の考え方にはっとさせられたりすることが多くあります。こんな考え方ってあるんだと驚きます。そして、その度に世界の見方が一つでないことに気づくのです。「カードキー忘れて水を買いに僕世界に閉じ込められる(木下龍也)」。この歌人の特徴は、何と言ってもその発想力です。世界をどう見るかに優れています。カードキーを部屋に忘れて廊下に立ちつくす情景を、部屋に中心を置かず廊下、ひいては世界を中心に発想を転換して詠んでいます。私にはこの発想力がない。だからこそ、この人の詠む歌に惹かれるのです。現代の短歌には、この豊かな発想力をちりばめた歌が多い。

すべての物事は見方によってどうとでもなるものだと思っています。自分に必要のないものだと思うのなら、きっとそうなのでしょう。でも、同じものを見ていても、発想の転換によって、無意味が有意味になることは珍しいことではありません。すべては自分次第なのです。そんなことに歌は気づかせてくれます。短歌だけではありません。名言や文章、人の言葉など、私達の周りにあふれる言葉に注意を向けるとき、そこに新たな世界を見つけることができるのです。担任より。

## 【2月の行事予定】

2月	2日(月)	I期選抜会場作成のため短縮45分授業(15:20完全退校)
	3日(火)	I期選抜【生徒休業日】(終日学校敷地内立ち入り禁止)
	4日(水)	3校時授業(平常の5, 6, 7校時の授業)(12:30~校舎内立入禁止)
	5日(木)	4校時授業(平常の3, 4, 5, 6校時の授業)(14:00~校舎内立入禁止)
	11日(水)	建国記念日
	12日(木)~17日(火)	学年末考査
	20日(金)	進路講演会
	27日(金)	表彰式、卒業式予行
	28日(土)	休日
3月	1日(日)	卒業式
	2日(月)	振替休日

式典が続きます!! 今回の式典はみんなのためのものではありません。お世話になった先輩方の為のものです。感謝の気持ちを込め、

**服装を整えて臨みましょう!!**

## 【進路講演会のお知らせ】

### ●北原達正 先生(京都大学宇宙物理学)

今回の講師の先生は、科学の面白さを伝え、将来有望な技術者や科学者を育てる活動を展開している北原先生です。「子どもの理科離れをなくす会」を主宰し、各地を飛び回っています。特にロボット工学についての講話が多いようですが、これから社会で働くために必要なコミュニケーション力や自己解決能力についてなども力を入れ講演しているようです。理系に進む人も、文系に進む人も、何が自分の糧になるかわかりません。意欲をもって参加してください。



## 【班別対抗 百人一首大会が行われました!】

1月29日(木)の6, 7校時に、百人一首の大会を行いました。各クラス8班×5クラスの頂点を目指し、国語の授業や総合学習の時間を活用し練習を重ねて来ました。初めはほぼカルタを取るだけでしたが、一首二首と覚えていき、大会では上の句のみで下の句を取れるようになった人が多くいました。お気に入りの一首があることは人として豊かであると思いますので、その一首を大切にしてください。

### 【大会結果】

- 優勝: 5組5班
- 準優勝: 5組7班
- △第三位: 2組3班、2組4班
- 敗者復活戦優勝: 4組5班

